



奈良県感染症情報

平成 29 年 第 21 週 (5 月 22 日 ~ 5 月 28 日)

奈良県感染症情報センター (奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

◆ 定点把握感染症報告状況 (定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

- 蚊媒介感染症について ~ジカ熱・デング熱対策~

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	8.03	(6.56)	↗	→	↗	↑
2	A群溶連菌咽頭炎	2.47	(3.06)	→	→	→	↗
3	咽頭結膜熱	1.59	(1.41)	↗	↗	↗	↘
4	手足口病	0.76	(1.12)	↗	→	↑↑	→
5	突発性発しん	0.59	(0.85)	→	→	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

咽頭結膜熱が増加しています。郡山保健所管内では、定点あたり報告数が 3.22 となっており警報レベルとなっています。咽頭結膜熱は、プールでの感染があることからプール熱とも呼ばれています。保育所や幼稚園、小学校での水遊びやプールの授業が始まると、感染が広がる可能性があります。プールなどの前後はシャワーを浴び、タオルの共有は避けるようにしましょう。

感染性胃腸炎の報告が、中和保健所管内西部地域で増加しています。集団生活の場では、感染拡大が懸念されます。集団感染を引き起こさないよう、糞便や嘔吐物の処理・消毒方法を確認しておきましょう。

◆ 蚊媒介感染症について ~ジカ熱・デング熱対策~ ◆

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症のことです。主な蚊媒介感染症には、ウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症 (ジカ熱)、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマラリアなどがあります。これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。

【対策法】

- 屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用しましょう。
- 蚊媒介感染症の流行地に渡航する場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう。
- ジカウイルス感染症は、妊娠中の母親からお腹の赤ちゃんに感染する可能性があります。妊婦や妊娠の可能性のある人、そのパートナーは特に注意しましょう。
- 日本にも生息するヒトスジシマカは、狭い水たまりのような場所で産卵し、増殖します。家の周囲を点検して不要な水たまりをなくすことが、ヒトスジシマカの発生を抑え、感染拡大を防ぐことにつながります。

【参考】

- 蚊媒介感染症 (厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>
- ジカウイルス感染症 (厚生労働省検疫所 FORTH)
<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name80.html>
- デング熱 (厚生労働省検疫所 FORTH)
<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name33.html>



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 29 年 第 21 週 5 月 22 日 ~ 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54 (0.26)	14 (0.36)	14 (0.14)	11 (0.36)	10 (0.30)	2	3	
インフルエンザ	14	5	2	4	3			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	5 (0.15)				5 (0.83)			
咽頭結膜熱	54 (1.59)	4 (0.44)	29 (3.22)	7 (1.00)	12 (2.00)		2 (1.00)	
A群溶連菌咽頭炎	84 (2.47)	13 (1.44)	22 (2.44)	7 (1.00)	36 (6.00)		6 (3.00)	
感染性胃腸炎	273 (8.03)	47 (5.22)	50 (5.56)	76 (10.86)	76 (12.67)	6 (6.00)	18 (9.00)	
水痘	12 (0.35)	2 (0.22)		4 (0.57)	4 (0.67)		2 (1.00)	
手足口病	26 (0.76)	6 (0.67)	9 (1.00)	5 (0.71)	6 (1.00)			
伝染性紅斑	3 (0.09)			1 (0.14)	1 (0.17)	1 (1.00)		
突発性発しん	20 (0.59)	4 (0.44)	6 (0.67)	5 (0.71)	5 (0.83)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	9 (0.26)	2 (0.22)	3 (0.33)	1 (0.14)	2 (0.33)		1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	20 (0.59)	4 (0.44)	5 (0.56)	2 (0.29)	7 (1.17)		2 (1.00)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	11 (1.10)	4 (1.33)	6 (2.00)	1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	2 (0.33)			1 (1.00)			1 (1.00)	
マイコプラズマ肺炎	3 (0.50)				3 (3.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	3 (0.50)	1 (1.00)	1 (0.50)		1 (1.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市1、中和2)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症2件(中和1、吉野1)
5類感染症	後天性免疫不全症候群2件(郡山1、中和1) 侵襲性インフルエンザ菌感染症1件(中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症3件(郡山3)

❖ 第21週のトピックス ❖

◆ジカウイルス感染症に関する注意喚起(インド)ー外務省(厚生労働省検疫所)
<http://www.forth.go.jp/topics/2017/05310900.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

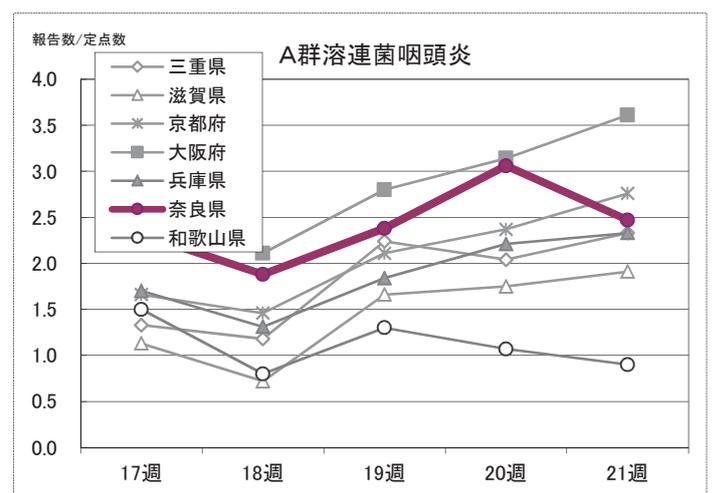
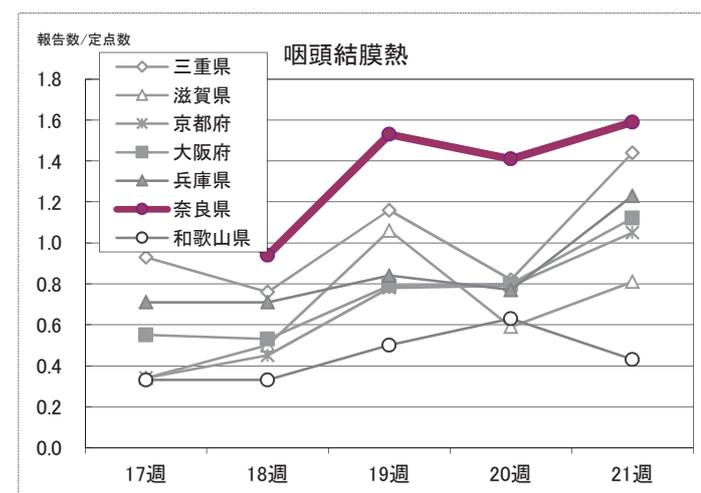
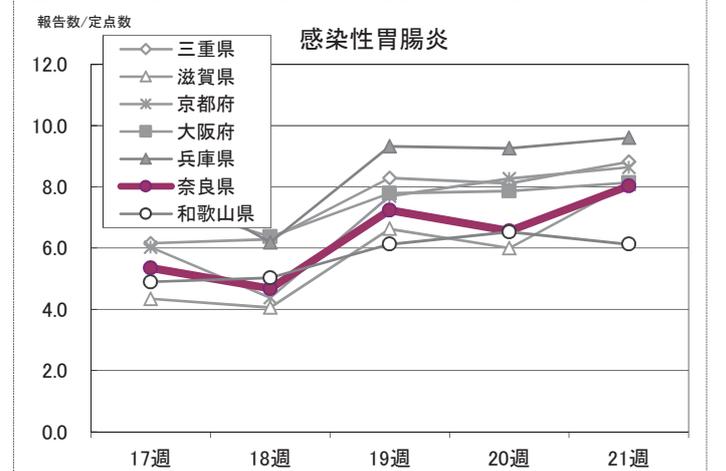
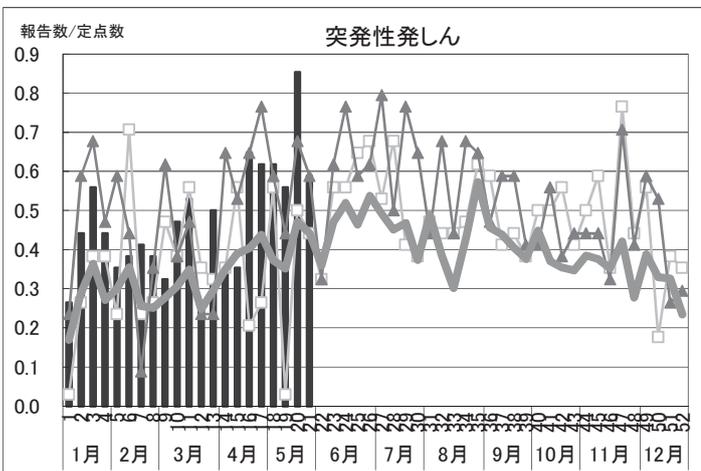
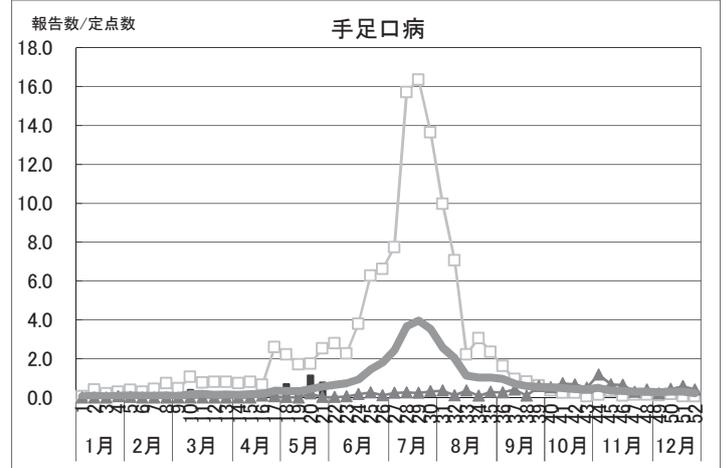
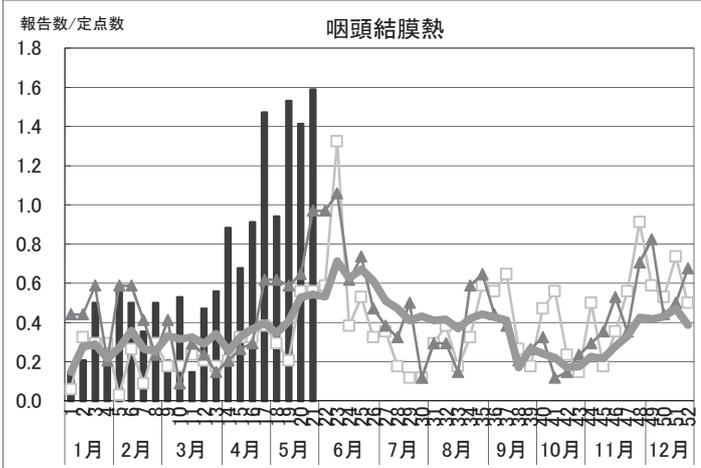
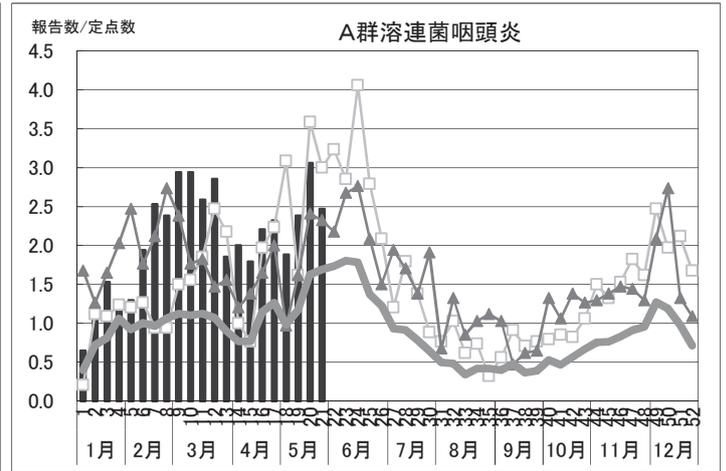
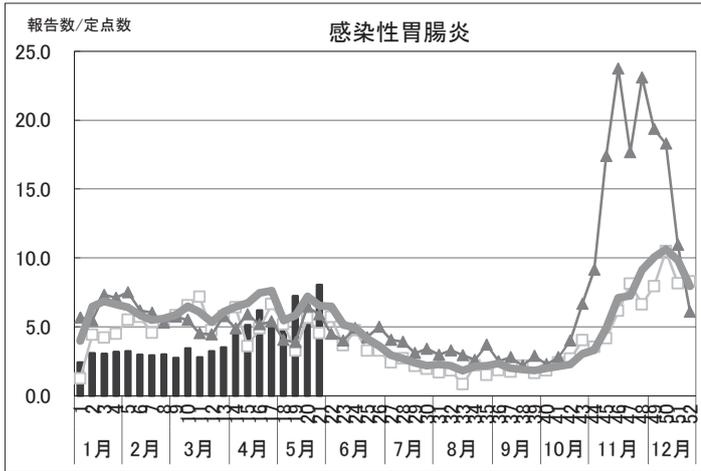
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男			1	2			1		1		1	4	1			1					7	5244	
	女												2									7	5002	
RSウイルス感染症	男			1	1																	2	238	
	女			2																		3	222	
咽頭結膜熱	男		1	15	2	3	1	2	1	1		1										27	263	
	女		3	5	5	6	3	2	2	1												27	225	
A群溶連菌咽頭炎	男		1	2	7	4	9	7	4	4	2	3	5		1							49	793	
	女			1	4	2	7	5	5	3	3	1	3		1							35	699	
感染性胃腸炎	男	2	11	30	24	28	15	11	7	5	7	2	7	1	8							158	1611	
	女	2	5	25	22	14	9	8	2	5	4		2	2	15							115	1358	
水痘	男		1		1			1	1	1		2										8	95	
	女		1				2						1									4	102	
手足口病	男		1	7	4	3	1															16	106	
	女		2	1	4	1	1		1													10	85	
伝染性紅斑	男								1			1										1	18	
	女														1							2	19	
突発性発しん	男		4	6		1																11	187	
	女		3	6																		9	150	
百日咳	男																						1	1
	女																						1	1
ヘルパンギーナ	男		1	1		1				1												4	20	
	女				2		1				2											5	21	
流行性耳下腺炎	男			1				1	3	1	1	1		1								9	291	
	女				1		1	2	3	2	1		1									11	272	
急性出血性結膜炎	男																						5	51
	女					1									1	3						6	55	
流行性角結膜炎	男					1									2	1	1	1						
	女																							
細菌性髄膜炎	男																						4	4
	女																						5	5
無菌性髄膜炎	男			1	1																	2	9	
	女																						3	3
マイコプラズマ肺炎	男			1																		1	44	
	女				2																	2	34	
クラミジア肺炎	男																						1	1
	女																						2	26
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						3	24
	女		2	1																				26

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H29 ▲ H28 □ H27 〰 過去10年平均



感染症の運び屋 蚊から

バリアーで身を守れ!!!

- やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう!
- ジカ熱やデング熱の流行地に渡航する場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう!

虫除け剤でバリアー



虫除け剤を使いましょう

でバリアー



出かけるときは肌の露出が
少ない服装にしましょう

●なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。



[ヒトスジシマカ]

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に給血します。活動範囲は50~100m程度です。

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚生労働省 検索



デング熱 厚生労働省 検索

